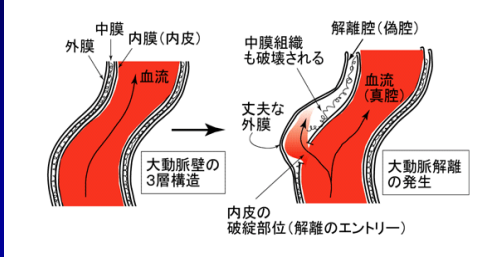


大動脈解離

[原因および病態]

高血圧や大動脈壁の脆弱化等により大動脈内膜に亀裂(エントリー)が生じ、大動脈壁が中膜のレベルで剥離し、本来の真腔のほかに偽腔を形成した病態で、偽腔内には血流もしくは血腫が存在する。



大動脈解離の分類

解離の部位による分類 **Stanford分類**

A型: 上行大動脈に解離のあるもの

B型: 上行大動脈に解離のないもの

解離と入口部の位置による分類 **DeBakey分類**

I型: 上行大動脈に入口部があり大動脈弓部以下にまで解離が及ぶもの

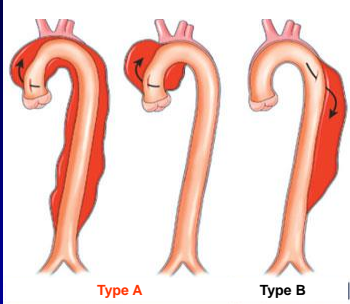
II型: 上行大動脈に解離が局限するもの

III型: 下行大動脈に入口部あるもの

IIIa 腹部大動脈に解離が及ばないもの

IIIb 腹部大動脈に解離が及ぶもの

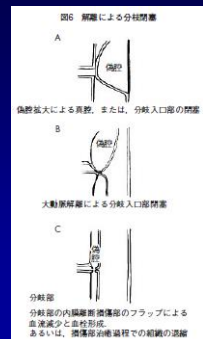
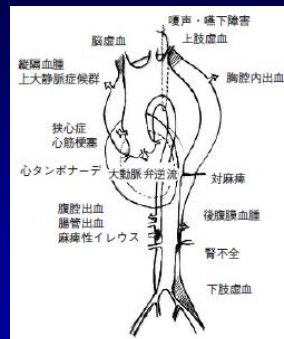
解離性大動脈瘤のStanford分類



エントリーの位置に関係なく解離が上行大動脈に存在するか否かで分類。上行大動脈に解離があればA型、それ以外をB型とする。

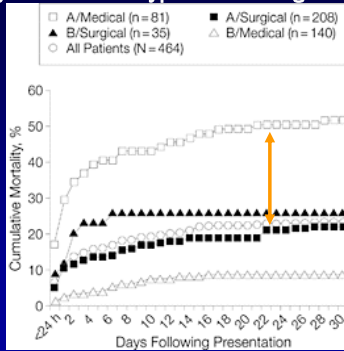
大動脈解離に伴う合併症

大動脈弁閉鎖不全 / 破裂 / 循環障害 (Malperfusion)



30-Day Mortality

by Dissection Type and Management



Hagan, P. G. et al. JAMA 2000;283:897-903.

大動脈解離の急性期治療

偽腔開存型A型解離 → 緊急手術

偽腔閉塞型A型解離 → 内科治療/外科治療※

※施設、術者により様々

偽腔拡大例、再解離例では手術

偽腔(血腫) > 11mm, 大動脈径 > 50mmでは手術考慮

B型解離 → 内科治療

解離に直接関係のある重症合併症をもち、手術によりそれが軽快するか、進行が抑えられるものでは外科的治療のこともある。

合併症のない偽腔閉塞型A型解離

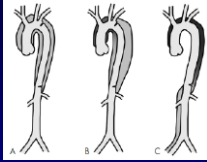


表9 Stantford A型偽腔閉塞型急性大動脈解離における内科治療の成績

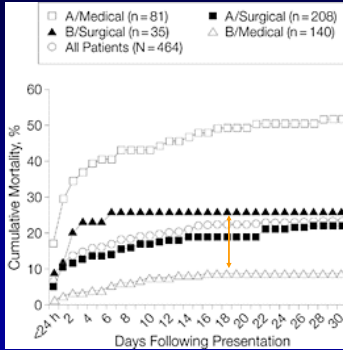
著者	年	全体の症例数	平均年齢	内科治療による死亡	内科治療で偽腔が消失
Mohr-Kahaly ¹⁾	1994	3	72	2/3	NA
Nianabe ²⁾	1995	12	52	4/5	NA
Sawada ³⁾	1997	13	70	1/8	4/8
Kaji ⁴⁾	1999	22	65	1/22	12/22
Shimizu ⁵⁾	2000	13	NA	3/11	NA
Hogea ⁶⁾	2000	17	NA	4/8	NA
Nishigami ⁷⁾	2000	8	72	1/8	2/8
Song ⁸⁾	2001	24	67	1/18	2/18
Sohn ⁹⁾	2001	13	NA	0/13	NA
Kaji ¹⁰⁾	2002	30	67	1/30	17/30
Song ¹¹⁾	2002	41	65	3/41	24/36
Evangelista ¹²⁾	2003	12	NA	1/5	2/5
van Koolwijk ¹³⁾	2003	38	NA	6/11	NA
Mitsumori ¹⁴⁾	2004	41	67	3/30	NA
Evangelista ¹⁵⁾	2005	23	NA	3/9	NA
Kaji ¹⁶⁾	2009	66	68	2/50	30/50
Song ¹⁷⁾	2009	101	65	6/85	NA

大動脈解離の急性期治療

偽腔開存型A型解離 → 緊急手術
 偽腔閉塞型A型解離 → 内科治療/外科治療※
 ※施設, 術者により様々
 偽腔拡大例, 再解離例では手術
 偽腔(血腫) > 11mm, 大動脈径 > 50mmでは手術考慮

B型解離 → 内科治療
 解離に直接関係のある重症合併症をもち, 手術によりそれが軽快するか, 進行が抑えられるものでは外科的治療のこともある。

30-Day Mortality by Dissection Type and Management



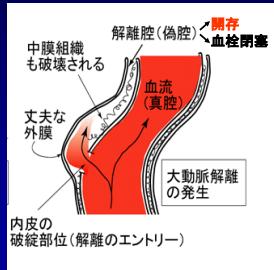
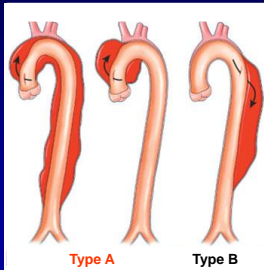
Hazan, P. G. et al. JAMA 2000;283:897-903.

大動脈解離の急性期治療

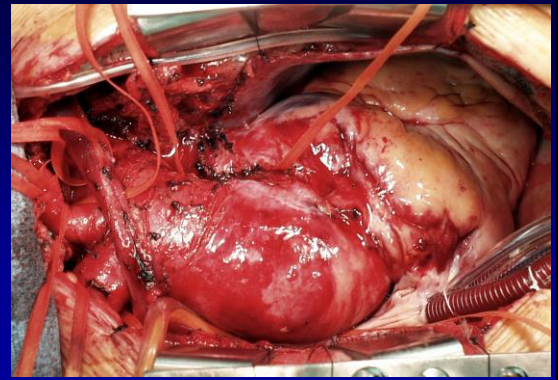
偽腔開存型A型解離 → 緊急手術
 偽腔閉塞型A型解離 → 内科治療/外科治療※
 ※施設, 術者により様々
 偽腔拡大例, 再解離例では手術
 偽腔(血腫) > 11mm, 大動脈径 > 50mmでは手術考慮

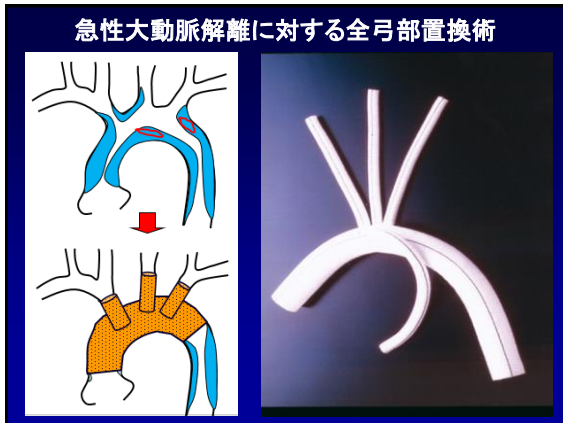
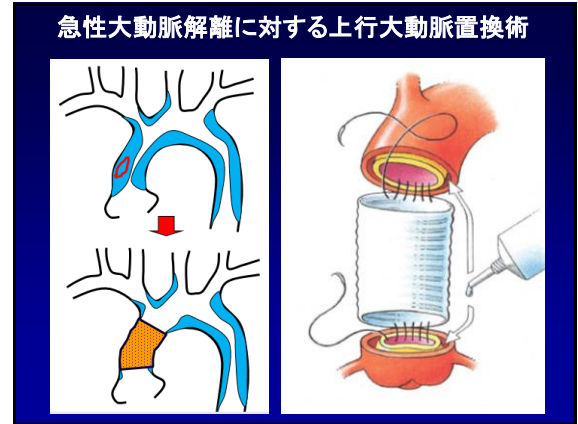
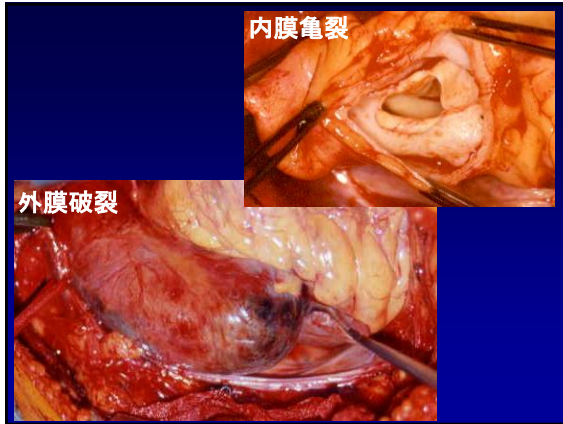
B型解離 → 内科治療
 解離に直接関係のある重症合併症をもち, 手術によりそれが軽快するか, 進行が抑えられるものでは外科的治療のこともある。

偽腔開存型A型解離 → 緊急手術



急性大動脈解離





大動脈解離(急性, A型)手術成績
(2014年 全国)

	症例数	術後30日死亡	在院死亡
上行大動脈置換術	2787	220 (7.9%)	267 (9.6%)
弓部置換術	1525	129 (8.5%)	156 (10.2%)
大動脈基部置換術	197	42 (21.3%)	48 (24.4%)
基部+弓部置換術	129	21 (16.3%)	23 (17.8%)

(2014年, 日本胸部外科学会集計)

大動脈解離(急性, A型)手術成績
(2015 - 2017年 当院)

	症例数	術後30日+在院死亡
上行大動脈置換術	12	1 (8.3%)
弓部置換術	7	1 (14.3%)
基部+弓部置換術	2	0 (0%)